

## 第4章 調査結果の分析・解説



# 高齢者の仕事や社会貢献活動への参加と「生きがい」の関係

中央大学大学院戦略経営研究科教授 佐藤博樹

## 1. はじめに

本稿では、高齢者の仕事や社会貢献活動への参加と「生きがい」との関係を取り上げる。日本では、高齢者とりわけ男性の就業意欲が高いと言われている。しかし、男性を含めて年齢が高くなるほど就業する者の割合が減少し、他方で、様々な社会貢献活動に参加する高齢者の割合が高くなる。こうした傾向を踏まえて本稿では、収入を伴う仕事に従事することや社会貢献活動に参加することが高齢者の「生きがい」とどのように関係するかを分析する。

まず、調査対象となった4カ国の高齢者の就業状況と社会貢献活動への参加状況を紹介する。続いて、日本の高齢者に限定して、仕事や社会貢献活動への参加の有無と「生きがい」との関係を、「生きがい」に関係すると考えられる他の要因を含めて多変量解析を行う。

## 2. 4カ国における高齢者の就業状況と社会貢献活動への参加の状況

分析にとりあげる国際比較調査では、調査時点における収入を伴う仕事の有無（Q15）と社会貢献活動への参加の有無（Q30）の2つを尋ねている。前者の収入を伴う仕事に関してはその就業形態を、後者の社会貢献活動に関しては「福祉や環境を改善することなどを目的としたボランティア活動その他の社会活動」への参加の有無を尋ねている。分析では、仕事と社会貢献活動に関する2つの設問の回答を組み合わせて、「仕事と社会貢献活動の両者に参加」、「仕事のみ参加」、「社会貢献活動のみ参加」、「いずれも参加していない」の4つのカテゴリーを作成し、4カ国の高齢者の就業状況と社会貢献活動への参加の特徴を見ることにしたい。

図表1は、4カ国別かつ男女別に集計した上記の4つのカテゴリーの比率である。まず男女別にみると、男性では、「いずれも参加していない」がスウェーデン（44.4%）とドイツ（44.1%）で多く、他方アメリカでは27.8%と低く、日本は35.5%になる。いずれにしても、いずれの国でも70%から60%弱の高齢者は仕事か社会貢献活動のいずれかに参加していることになる。「仕事と社会貢献活動の両者に参加」はアメリカ（22.8%）と日本（22.3%）で多く、「仕事のみ」はドイツ（22.4%）と日本（21.2%）で多く、「社会貢献活動のみ」はアメリカ（41.4%）に多くなる。

つぎに、女性を取り上げると、「いずれも参加していない」はドイツ（53.1%）やスウェーデン（51.0%）で多く、アメリカ（32.7%）で少なくなる。「仕事と社会貢献活動の両者に参加」はアメリカ（15.3%）で多く、「仕事のみ」は日本（15.4%）が多く、アメリカ（4.6%）が少なく、「社会貢献活動のみ」はアメリカ（47.3%）に多くなる。

図表1 高齢者の仕事や社会貢献活動への参加状況(男女別&国別)

F 1 あなたの性別			仕事と 社会貢献活動	仕事のみ	社会貢献活動 のみ	いずれも なし	合計	
男	国	日本	度数	145	138	137	231	651
			国の%	22.3%	21.2%	21.0%	35.5%	100.0%
		アメリカ	度数	97	34	176	118	425
			国の%	22.8%	8.0%	41.4%	27.8%	100.0%
		ドイツ	度数	69	105	88	207	469
			国の%	14.7%	22.4%	18.8%	44.1%	100.0%
		スウェーデン	度数	108	123	193	339	763
			国の%	14.2%	16.1%	25.3%	44.4%	100.0%
	合計		度数	419	400	594	895	2,308
			国の%	18.2%	17.3%	25.7%	38.8%	100.0%
女	国	日本	度数	89	110	160	357	716
			国の%	12.4%	15.4%	22.3%	49.9%	100.0%
		アメリカ	度数	89	27	275	190	581
			国の%	15.3%	4.6%	47.3%	32.7%	100.0%
		ドイツ	度数	62	82	125	305	574
			国の%	10.8%	14.3%	21.8%	53.1%	100.0%
		スウェーデン	度数	79	102	194	390	765
			国の%	10.3%	13.3%	25.4%	51.0%	100.0%
	合計		度数	319	321	754	1,242	2,636
			国の%	12.1%	12.2%	28.6%	47.1%	100.0%
合計	国	日本	度数	234	248	297	588	1,367
			国の%	17.1%	18.1%	21.7%	43.0%	100.0%
		アメリカ	度数	186	61	451	308	1,006
			国の%	18.5%	6.1%	44.8%	30.6%	100.0%
		ドイツ	度数	131	187	213	512	1,043
			国の%	12.6%	17.9%	20.4%	49.1%	100.0%
		スウェーデン	度数	187	225	387	729	1,528
			国の%	12.2%	14.7%	25.3%	47.7%	100.0%
合計		度数	738	721	1,348	2,137	4,944	
		国の%	14.9%	14.6%	27.3%	43.2%	100.0%	

続いて、国別に、男女年齢階層別の特徴をみよう。

日本の男性は、年齢が高くなると「いずれも参加していない」が増加し、85歳以上では68.9%にもなる。また、年齢が高くなると「仕事と社会貢献活動の両者に参加」と「仕事のみ」の両者が減少し、80歳代前半までは「社会貢献活動のみ参加」が増えることがわかる。70歳代後半と80歳代前半では35%前後の高齢者が「社会貢献活動のみ参加」と回答している。つまり、加齢とともに「いずれも参加していない」が増加するものの、「仕事と社会貢献活動の両者に参加」と「仕事のみ」の両者が、加齢とともに80歳代前半までは「社内貢献活動のみ参加」に移行していると想定できる。こうした傾向は、他の3カ国でも確認できる。

つぎに日本の女性を取り上げよう。男性と同じように年齢が高くなると「いずれも参加していない」が増加し、85歳以上では79.7%にもなる。また、年齢が高くなると「仕事と社会貢献活動の両者に参加」と「仕事のみ」の両者が減少し、70歳代後半までは「社会貢献活動のみ参加」が増える。70歳代後半では30%強の高齢者が、80歳代前半では20%程度の高齢者が「社会貢献活動のみ参加」と回答している。つまり、加齢とともに、「いずれも参加していない」が増加するものの、80歳代前半までは加齢とともに、「仕事と社会貢献活動の両者に参加」や「仕事のみ」の両者が「社会貢献活動のみ参加」に移行していると想定できる。こうした傾向は、他の3カ国でも確認できる。

図表2 高齢者の仕事と社会貢献活動への参加状況(国別&男女別&年齢階層別)

〈日本〉

F2 あなたは、満年齢でおいくつですか			仕事と社会貢献活動	仕事のみ	社会貢献活動のみ	いずれもなし	合計	
日本	男	60～64歳	度数	32	48	5	17	102
			%	31.4%	47.1%	4.9%	16.7%	100.0%
		65～69歳	度数	43	40	21	42	146
			%	29.5%	27.4%	14.4%	28.8%	100.0%
		70～74歳	度数	46	31	40	71	188
			%	24.5%	16.5%	21.3%	37.8%	100.0%
		75～79歳	度数	15	12	39	39	105
			%	14.3%	11.4%	37.1%	37.1%	100.0%
		80～84歳	度数	6	5	23	31	65
			%	9.2%	7.7%	35.4%	47.7%	100.0%
		85歳以上	度数	3	2	9	31	45
			%	6.7%	4.4%	20.0%	68.9%	100.0%
		合計	度数	145	138	137	231	651
			%	22.3%	21.2%	21.0%	35.5%	100.0%
	女	60～64歳	度数	24	28	12	29	93
			%	25.8%	30.1%	12.9%	31.2%	100.0%
		65～69歳	度数	27	38	33	58	156
			%	17.3%	24.4%	21.2%	37.2%	100.0%
		70～74歳	度数	27	27	46	84	184
			%	14.7%	14.7%	25.0%	45.7%	100.0%
		75～79歳	度数	10	9	42	65	126
			%	7.9%	7.1%	33.3%	51.6%	100.0%
		80～84歳	度数	0	5	15	58	78
			%	0.0%	6.4%	19.2%	74.4%	100.0%
		85歳以上	度数	1	3	12	63	79
			%	1.3%	3.8%	15.2%	79.7%	100.0%
		合計	度数	89	110	160	357	716
%			12.4%	15.4%	22.3%	49.9%	100.0%	
合計	60～64歳	度数	56	76	17	46	195	
		%	28.7%	39.0%	8.7%	23.6%	100.0%	
	65～69歳	度数	70	78	54	100	302	
		%	23.2%	25.8%	17.9%	33.1%	100.0%	
	70～74歳	度数	73	58	86	155	372	
		%	19.6%	15.6%	23.1%	41.7%	100.0%	
	75～79歳	度数	25	21	81	104	231	
		%	10.8%	9.1%	35.1%	45.0%	100.0%	
	80～84歳	度数	6	10	38	89	143	
		%	4.2%	7.0%	26.6%	62.2%	100.0%	
	85歳以上	度数	4	5	21	94	124	
		%	3.2%	4.0%	16.9%	75.8%	100.0%	
	合計	度数	234	248	297	588	1,367	
		%	17.1%	18.1%	21.7%	43.0%	100.0%	

図表2 高齢者の仕事と社会貢献活動への参加状況(国別&男女別&年齢階層別)・つづき

〈アメリカ〉

F2 あなたは、満年齢で おいくつですか			仕事と 社会貢献活動	仕事のみ	社会貢献活動 のみ	いずれも なし	合計	
アメリカ	男	60～64歳	度数	41	10	13	15	79
			%	51.9%	12.7%	16.5%	19.0%	100.0%
		65～69歳	度数	24	12	42	22	100
			%	24.0%	12.0%	42.0%	22.0%	100.0%
		70～74歳	度数	17	7	38	24	86
			%	19.8%	8.1%	44.2%	27.9%	100.0%
		75～79歳	度数	12	2	36	23	73
			%	16.4%	2.7%	49.3%	31.5%	100.0%
		80～84歳	度数	2	3	25	20	50
			%	4.0%	6.0%	50.0%	40.0%	100.0%
		85歳以上	度数	1	0	22	14	37
			%	2.7%	0.0%	59.5%	37.8%	100.0%
		合計	度数	97	34	176	118	425
			%	22.8%	8.0%	41.4%	27.8%	100.0%
	女	60～64歳	度数	37	9	38	26	110
			%	33.6%	8.2%	34.5%	23.6%	100.0%
		65～69歳	度数	26	9	59	35	129
			%	20.2%	7.0%	45.7%	27.1%	100.0%
		70～74歳	度数	12	3	64	44	123
			%	9.8%	2.4%	52.0%	35.8%	100.0%
		75～79歳	度数	11	3	55	32	101
			%	10.9%	3.0%	54.5%	31.7%	100.0%
		80～84歳	度数	1	2	37	20	60
			%	1.7%	3.3%	61.7%	33.3%	100.0%
		85歳以上	度数	2	1	22	33	58
			%	3.4%	1.7%	37.9%	56.9%	100.0%
		合計	度数	89	27	275	190	581
			%	15.3%	4.6%	47.3%	32.7%	100.0%
合計	60～64歳	度数	78	19	51	41	189	
		%	41.3%	10.1%	27.0%	21.7%	100.0%	
	65～69歳	度数	50	21	101	57	229	
		%	21.8%	9.2%	44.1%	24.9%	100.0%	
	70～74歳	度数	29	10	102	68	209	
		%	13.9%	4.8%	48.8%	32.5%	100.0%	
	75～79歳	度数	23	5	91	55	174	
		%	13.2%	2.9%	52.3%	31.6%	100.0%	
	80～84歳	度数	3	5	62	40	110	
		%	2.7%	4.5%	56.4%	36.4%	100.0%	
	85歳以上	度数	3	1	44	47	95	
		%	3.2%	1.1%	46.3%	49.5%	100.0%	
	合計	度数	186	61	451	308	1,006	
		%	18.5%	6.1%	44.8%	30.6%	100.0%	

図表2 高齢者の仕事と社会貢献活動への参加状況(国別&男女別&年齢階層別)・つづき

〈ドイツ〉

F2 あなたは、満年齢でおいくつですか			仕事と社会貢献活動	仕事のみ	社会貢献活動のみ	いずれもなし	合計	
ドイツ	男	60～64歳	度数	41	53	13	26	133
			%	30.8%	39.8%	9.8%	19.5%	100.0%
		65～69歳	度数	10	14	22	51	97
			%	10.3%	14.4%	22.7%	52.6%	100.0%
		70～74歳	度数	8	16	22	39	85
			%	9.4%	18.8%	25.9%	45.9%	100.0%
		75～79歳	度数	7	13	19	46	85
			%	8.2%	15.3%	22.4%	54.1%	100.0%
		80～84歳	度数	3	7	10	31	51
			%	5.9%	13.7%	19.6%	60.8%	100.0%
		85歳以上	度数	0	2	2	14	18
			%	0.0%	11.1%	11.1%	77.8%	100.0%
		合計	度数	69	105	88	207	469
			%	14.7%	22.4%	18.8%	44.1%	100.0%
	女	60～64歳	度数	36	45	20	34	135
			%	26.7%	33.3%	14.8%	25.2%	100.0%
		65～69歳	度数	10	14	23	65	112
			%	8.9%	12.5%	20.5%	58.0%	100.0%
		70～74歳	度数	8	13	32	66	119
			%	6.7%	10.9%	26.9%	55.5%	100.0%
		75～79歳	度数	6	3	28	72	109
			%	5.5%	2.8%	25.7%	66.1%	100.0%
		80～84歳	度数	1	5	17	42	65
			%	1.5%	7.7%	26.2%	64.6%	100.0%
		85歳以上	度数	1	2	5	26	34
			%	2.9%	5.9%	14.7%	76.5%	100.0%
		合計	度数	62	82	125	305	574
			%	10.8%	14.3%	21.8%	53.1%	100.0%
合計	60～64歳	度数	77	98	33	60	268	
		%	28.7%	36.6%	12.3%	22.4%	100.0%	
	65～69歳	度数	20	28	45	116	209	
		%	9.6%	13.4%	21.5%	55.5%	100.0%	
	70～74歳	度数	16	29	54	105	204	
		%	7.8%	14.2%	26.5%	51.5%	100.0%	
	75～79歳	度数	13	16	47	118	194	
		%	6.7%	8.2%	24.2%	60.8%	100.0%	
	80～84歳	度数	4	12	27	73	116	
		%	3.4%	10.3%	23.3%	62.9%	100.0%	
	85歳以上	度数	1	4	7	40	52	
		%	1.9%	7.7%	13.5%	76.9%	100.0%	
	合計	度数	131	187	213	512	1,043	
		%	12.6%	17.9%	20.4%	49.1%	100.0%	

図表2 高齢者の仕事と社会貢献活動への参加状況(国別&男女別&年齢階層別)・つづき

〈スウェーデン〉

F2 あなたは、満年齢でおいくつですか			仕事と社会貢献活動	仕事のみ	社会貢献活動のみ	いずれもなし	合計	
スウェーデン	男	60～64歳	度数	55	62	12	24	153
			%	35.9%	40.5%	7.8%	15.7%	100.0%
		65～69歳	度数	15	26	46	87	174
			%	8.6%	14.9%	26.4%	50.0%	100.0%
		70～74歳	度数	21	16	52	91	180
			%	11.7%	8.9%	28.9%	50.6%	100.0%
		75～79歳	度数	10	12	44	55	121
			%	8.3%	9.9%	36.4%	45.5%	100.0%
		80～84歳	度数	4	4	22	49	79
			%	5.1%	5.1%	27.8%	62.0%	100.0%
		85歳以上	度数	3	3	17	33	56
			%	5.4%	5.4%	30.4%	58.9%	100.0%
	合計	度数	108	123	193	339	763	
		%	14.2%	16.1%	25.3%	44.4%	100.0%	
	女	60～64歳	度数	37	75	6	31	149
			%	24.8%	50.3%	4.0%	20.8%	100.0%
		65～69歳	度数	22	15	39	79	155
			%	14.2%	9.7%	25.2%	51.0%	100.0%
		70～74歳	度数	11	7	67	90	175
			%	6.3%	4.0%	38.3%	51.4%	100.0%
		75～79歳	度数	5	4	40	84	133
			%	3.8%	3.0%	30.1%	63.2%	100.0%
		80～84歳	度数	4	0	27	48	79
			%	5.1%	0.0%	34.2%	60.8%	100.0%
85歳以上		度数	0	1	15	58	74	
		%	0.0%	1.4%	20.3%	78.4%	100.0%	
合計	度数	79	102	194	390	765		
	%	10.3%	13.3%	25.4%	51.0%	100.0%		
合計	60～64歳	度数	92	137	18	55	302	
		%	30.5%	45.4%	6.0%	18.2%	100.0%	
	65～69歳	度数	37	41	85	166	329	
		%	11.2%	12.5%	25.8%	50.5%	100.0%	
	70～74歳	度数	32	23	119	181	355	
		%	9.0%	6.5%	33.5%	51.0%	100.0%	
	75～79歳	度数	15	16	84	139	254	
		%	5.9%	6.3%	33.1%	54.7%	100.0%	
	80～84歳	度数	8	4	49	97	158	
		%	5.1%	2.5%	31.0%	61.4%	100.0%	
	85歳以上	度数	3	4	32	91	130	
		%	2.3%	3.1%	24.6%	70.0%	100.0%	
合計	度数	187	225	387	729	1,528		
	%	12.2%	14.7%	25.3%	47.7%	100.0%		

図表2 高齢者の仕事と社会貢献活動への参加状況(国別&男女別&年齢階層別)・つづき

〈4カ国合計〉

F2 あなたは、満年齢でおいくつですか			仕事と社会貢献活動	仕事のみ	社会貢献活動のみ	いずれもなし	合計	
4か国合計	男	60～64歳	度数	169	173	43	82	467
			%	36.2%	37.0%	9.2%	17.6%	100.0%
		65～69歳	度数	92	92	131	202	517
			%	17.8%	17.8%	25.3%	39.1%	100.0%
		70～74歳	度数	92	70	152	225	539
			%	17.1%	13.0%	28.2%	41.7%	100.0%
		75～79歳	度数	44	39	138	163	384
			%	11.5%	10.2%	35.9%	42.4%	100.0%
		80～84歳	度数	15	19	80	131	245
			%	6.1%	7.8%	32.7%	53.5%	100.0%
		85歳以上	度数	7	7	50	92	156
			%	4.5%	4.5%	32.1%	59.0%	100.0%
		合計	度数	419	400	594	895	2,308
			%	18.2%	17.3%	25.7%	38.8%	100.0%
	女	60～64歳	度数	134	157	76	120	487
			%	27.5%	32.2%	15.6%	24.6%	100.0%
		65～69歳	度数	85	76	154	237	552
			%	15.4%	13.8%	27.9%	42.9%	100.0%
		70～74歳	度数	58	50	209	284	601
			%	9.7%	8.3%	34.8%	47.3%	100.0%
		75～79歳	度数	32	19	165	253	469
			%	6.8%	4.1%	35.2%	53.9%	100.0%
		80～84歳	度数	6	12	96	168	282
			%	2.1%	4.3%	34.0%	59.6%	100.0%
		85歳以上	度数	4	7	54	180	245
			%	1.6%	2.9%	22.0%	73.5%	100.0%
		合計	度数	319	321	754	1,242	2,636
			%	12.1%	12.2%	28.6%	47.1%	100.0%
合計	60～64歳	度数	303	330	119	202	954	
		%	31.8%	34.6%	12.5%	21.2%	100.0%	
	65～69歳	度数	177	168	285	439	1,069	
		%	16.6%	15.7%	26.7%	41.1%	100.0%	
	70～74歳	度数	150	120	361	509	1,140	
		%	13.2%	10.5%	31.7%	44.6%	100.0%	
	75～79歳	度数	76	58	303	416	853	
		%	8.9%	6.8%	35.5%	48.8%	100.0%	
	80～84歳	度数	21	31	176	299	527	
		%	4.0%	5.9%	33.4%	56.7%	100.0%	
	85歳以上	度数	11	14	104	272	401	
		%	2.7%	3.5%	25.9%	67.8%	100.0%	
	合計	度数	738	721	1,348	2,137	4,944	
		%	14.9%	14.6%	27.3%	43.2%	100.0%	

### 3. 日本の高齢者の仕事や社会貢献活動への参加と生きがいの関係

日本の高齢者に限定し、「生きがい」を規定する要因を明らかにするため「生きがい」を目的変数とする重回帰分析を行った。重回帰分析に投入した目的変数と説明変数の作成方法などは下記のようになる。分析投入した変数の記述統計量は、図表3を参照されたい。

(目的変数)

生きがい (Q36、5段階の選択肢を反転)

(説明変数や統制変数)

仕事 (Q15) と社会貢献活動への参加状況 (Q30) から4つのダミー変数を作成 (分析では基準を「いずれも参加していない」とする) = 仕事と社会貢献活動の両者の参加ダミー、仕事のみ参加ダミー、社会貢献活動のみ参加ダミー、いずれも参加していないダミー

男性ダミー (F 1)

年齢 (F 2)

単身世帯ダミー (F 4)

健康ダミー (Q 4 の健康である)

経済的に困っていない程度 (Q12 の選択肢を反転)

相談できる友人など有ダミー (Q29 の選択肢1 から3 を有に変換)

他者との会話の頻度 (Q26 の選択肢を反転)

図表3 分析に利用した変数の記述統計量

#### 記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
F1 性別	1367	1	2	1.52	0.500
F2 満年齢	1367	60	99	72.80	7.690
Q12 経済的に困っていない程度 (4から1)	1332	1	4	2.88	0.956
男性ダミー	1367	0.00	1.00	0.4762	0.49962
単身ダミー (F4)	1357	0.00	1.00	0.1341	0.34091
健康ダミー	1340	0.00	1.00	0.5187	0.49984
相談できる友人有ダミー (Q29)	1333	0.00	1.00	0.5889	0.49222
会話頻度 (Q26反転)	1333	1.00	5.00	4.3196	1.27751
生きがいの程度 (Q36反転)	1335	1.00	5.00	3.7820	0.99307
仕事とボランティア	1367	0.00	1.00	0.1712	0.37680
仕事のみ	1367	0.00	1.00	0.1814	0.38551
ボランティアのみ	1367	0.00	1.00	0.2173	0.41253
いずれもなし	1367	0.00	1.00	0.4301	0.49528
有効なケースの数 (リストごと)	1239				

上記の変数を利用して重回帰分析を行った結果が図表4で、分析対象数は1,239名である。分析結果では、F検定の結果は1%水準で有意で、R<sup>2</sup>乗が0.230のため今回のモデルで目的変数の分散の約23%が説明できていることがわかる。

分析に投入した変数の有意確率をみると、男性ダミー変数を除く他の変数は、すべて1%水準で有意である。言い換えれば、男性ダミーつまり性別は、他の変数をコントロールすると、「生きがい」には影響しないと言える。

男性ダミー以外の変数の標準化係数 $\beta$ をみると、 $\beta$ がマイナスなのは単身世帯ダミーのみである。つまり、単身世帯の高齢者は、それ以外の世帯の高齢者に比べて「生きがい」が低くなる。他の変数の $\beta$ はプラスであることから、それらの変数のすべては「生きがい」の向上に貢献することがわかる。具体的には、「経済的に困っていないこと」、「健康であること」、「相談できる友人

などがあること」、「他者との会話頻度が多くなること」は、「生きがい」の向上に貢献している。さらに、「いずれにも参加していないダミー」を基準とすると、「仕事と社会貢献活動の両者の参加ダミー」、「仕事のみ参加ダミー」、「社会貢献活動のみ参加ダミー」は、いずれも「生きがい」を高めることに貢献している。つまり、仕事だけでなく、社会貢献活動への参加は、「生きがい」の向上に貢献していることがわかる。

さらに説明変数の標準化係数 $\beta$ の大きさをみると、これらの中では、「経済的に困っていないこと」と「仕事と社会貢献活動の両者参加ダミー」の2つは、他の変数に比較して、「生きがい」の向上への影響度が大きい。また、仕事と社会貢献活動の「いずれにも参加していないダミー」に比較して、「生きがい」へのプラスの影響の大きさは、「仕事と社会貢献活動の両者参加ダミー」、「社会貢献活動のみ参加ダミー」、「仕事のみ参加ダミー」の順である。つまり、仕事のみと社会貢献活動のみを比較すると、社会貢献活動に参加することは「生きがい」へのプラスの影響が大きいことになる。言い換えれば、仕事のみに参加していた高齢者が、仕事を辞めた代わりに社会貢献活動に参加すれば、「生きがい」が低下することなく、それ以前に比較して高くなる可能性があると言えよう。

図表4 「生きがい」を規定する要因に関する重回帰分析

### モデルの要約

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の標準誤差
1	.479 <sup>a</sup>	0.230	0.223	0.87830

### 分散分析<sup>a</sup>

モデル		平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
1	回帰	282.465	10	28.247	36.617	.000 <sup>b</sup>
	残差	947.283	1228	0.771		
	合計	1229.748	1238			

### 係数<sup>a</sup>

モデル		非標準化係数		標準化係数	t 値	有意確率	共線性の統計量	
		B	標準誤差	ベータ			許容度	VIF
1	(定数)	0.938	0.303		3.099	0.002		
	F2 満年齢	0.017	0.004	0.128	4.589	0.000	0.813	1.231
	男性ダミー	-0.001	0.052	0.000	-0.016	0.987	0.907	1.102
	単身ダミー(F4)	-0.214	0.082	-0.073	-2.595	0.010	0.797	1.255
	Q12 経済的に困っていない程度(4から1)	0.203	0.027	0.194	7.471	0.000	0.929	1.077
	健康ダミー	0.327	0.052	0.164	6.234	0.000	0.908	1.102
	相談できる友人有ダミー(q29)	0.306	0.053	0.151	5.786	0.000	0.921	1.086
	会話頻度(q26逆5から1)	0.114	0.023	0.145	5.061	0.000	0.769	1.300
	仕事とボランティア	0.506	0.077	0.194	6.537	0.000	0.709	1.411
	仕事のみ	0.338	0.076	0.132	4.479	0.000	0.719	1.391
	ボランティアのみ	0.368	0.067	0.154	5.480	0.000	0.796	1.257

a. 従属変数 生きがいの程度 (q36逆転)

#### 4. まとめ

4カ国の高齢者の仕事や社会貢献活動への参加の状況をみると、加齢とともにいずれにも参加していない者が増加している。他方で、仕事や社会貢献活動への参加をみると、加齢につれて仕事と社会貢献活動の両者に参加している者や仕事のみに参加している者の割合が減少し、社会貢献活動のみに参加する者の比率が増加している。

そこで、日本の高齢者に限定して仕事や社会貢献活動への参加の有無が、高齢者の「生きがい」にどのように影響するかを分析した。「生きがい」に影響すると考えられる変数を統制した場合でも、仕事や社会貢献活動への参加は、いずれにも参加していない者に比較して、「生きがい」の向上に貢献していることが明らかになった。とりわけ「生きがい」への貢献度は、「仕事と社会貢献活動の両者に参加」>「社会貢献活動のみに参加」>「仕事のみ参加」>「いずれも参加していない」の順であった。つまり、高齢者が「生きがい」を維持するためには、仕事のための生活から引退する場合でも、何らかの社会貢献活動に参加することが望ましいと言える。

上記を踏まえると、高齢期にも「生きがい」を維持するためには、仕事を辞めても、その代わりに社会貢献活動に参加することが大事になると言える。しかし、仕事のための生活を長期に続けていながら高齢期に仕事を辞めた直後から、社会貢献活動を新たにはじめることは難しいと考えられる。それを踏まえると、高齢期に到達する前から仕事だけでなく、社会貢献活動にも参加しておくことが大事になろう。若い時期から仕事と社会貢献活動の両者に参加しておき、高齢期に仕事を引退したあとは、社会貢献活動を継続し、社会貢献活動に軸足を移すことが「生きがい」を維持するために有効と言えよう。